



# ほけんだより 9月



平成30年9月3日  
青梅みどり第二保育園保健室

少しずつ日が短くなってきましたね。楽しかったプール遊びも終わりましたが、まだまだ暑い日は続きそうです。

この時期は、疲れから体調を崩すことが多くなります。食事と休養をしっかりとって生活リズムを整えるようにしましょう。

去年は乳児クラスで手足口病が大流行しました。今年は、今のところ流行している疾患はありませんが、都内では風疹が流行しているという情報もあるので注意しましょう。

## 9月の保健行事

4日(火) 乳児体測

5日(水) 乳児健診

11日(火) 幼児体測

とびひになっちゃった!



掻きこわしたあせも・虫刺され・小さな傷口などに、黄色ブドウ球菌や連鎖球菌が感染して起こる伝染性膿痂疹は、水ぶくれができてはつぶれ患部が広がっていくことから「とびひ」と呼ばれています。今年の夏は、とびひにかかった子が多かったですね。とびひにかかったら、抗菌薬による治療と肌を清潔に保つことが大切です。入浴時は、よく泡立てた石けんで患部を丁寧に洗いシャワーですすぎます。兄弟がいる子は、最後に浴槽につかるようにシタオルの共用は避けましょう。原因となる黄色ブドウ球菌は、健康な肌にすむ菌の一種で鼻の入り口に多く存在します。鼻をいじる癖がある子は要注意!肌を傷つけないようにし、爪は短く切っておきましょう。肌のバリア機能が低下していると感染、悪化しやすいのでアトピー性皮膚炎や乾燥肌の子は保湿ケアも大切です。患部をガーゼや包帯で完全に覆っていれば保育園の登園は可能です。経過報告書の提出をお願いします。



## MEMO <切り傷と擦り傷の手当て>

子どもの行動範囲が広がるにつれてけがが多くなります。けがをすると消毒したくなりますが、消毒することによって傷口の組織も死ぬことになり、治りを遅らせてしまうので消毒しない方が早く治ります。けがをしたら、傷口の汚れを流水できれいに洗い流し、絆創膏やガーゼで保護しましょう。ただし、傷口に、トゲや石、ガラスなどの異物が混入している場合や、擦り傷の下の組織が、異様に腫れて痛む場合などは医師に診てもらいましょう。

